

2016 年 9 月 1 日

バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

年間の優れたミュージックビデオを発表する音楽アワード 「MTV VMAJ 2016」開催決定

ジャスティン・ビーバーが最多 4 部門にノミネート

本日より投票スタート、結果は 10 月 3 日（月）に VMAJ.JP にて発表

10 月 26 日（水）には RIP SLYME がホストを務めるイベントを生中継

世界最大級のユース向け音楽&エンターテインメント・ブランド「MTV」を日本で展開するバイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社（東京都港区、代表取締役社長：井股進）は、年間の優れたミュージックビデオを表彰する音楽アワード「MTV VMAJ 2016」を本日より公式サイト VMAJ.JP にて展開し、10 月 26 日（水）に受賞者が集うスペシャル・イベント「MTV VMAJ 2016 -THE PARTY!!-」を生中継することを発表いたしました。

■今年で 15 回目を迎える「MTV VMAJ」

「MTV VMAJ」は、音楽を“聞くもの”から“見て楽しむもの”へと変えたパイオニア「MTV」を象徴する、伝統ある米国「MTV Video Music Awards」の日本版として 2002 年以來開催している音楽アワードです。アーティストたちが世に送り出した数々のミュージックビデオの中から、視聴者の投票により最優秀作品を決定する“ファンが選ぶ音楽賞”として、毎年賞の行方が注目されています。

■今年のノミネーションを制したのは最多 4 部門に選出されたジャスティン・ビーバー

この 1 年に発表されたミュージックビデオの中から選出された、17 部門のノミネート作品が決定しました。今回最多となる 4 部門でのノミネートを獲得したのは最新アルバム「PURPOSE」が世界中で大ヒットを記録しているジャスティン・ビーバー（「最優秀洋楽男性アーティストビデオ賞」「最優秀洋楽アルバム賞」「最優秀ポップビデオ賞」「最優秀振付け賞」）です。先日開催した来日公演では 2 日間で 5 万人を魅了し、稀代のポップスターとしての存在感を見せつけました。

ジャスティン・ビーバーに続くのはドレイク（「最優秀洋楽男性アーティストビデオ賞」「最優秀洋楽アルバム賞」「最優秀ヒップホップビデオ賞」）、フィフス・ハーモニー（「最優秀洋楽グループビデオ賞」「最優秀ポップビデオ賞」「最優秀振付け賞」）、そして日本からは BABYMETAL（「最優秀邦楽グループビデオ賞」「最優秀邦楽アルバム賞」「最優秀メタルビデオ賞」、西野カナ（「最優秀邦楽女性アーティストビデオ賞」「最優秀邦楽アルバム賞」「最優秀ポップビデオ賞」）の 4 組です。

出身国もさまざま、ロック、R&B、ポップなど異なるジャンルで活躍するアーティストたちが、ときには同じカテゴリーで熾烈な争いを繰り広げるのも VMAJ の醍醐味の一つ。各部門の最優秀賞を決定するのは、MTV 視聴者をはじめ一般の方からの投票です。投票は公式サイト VMAJ.JP にて本日 9 月 1 日（木）から 9 月 30 日（金）23:59 までの期間受け付け、10 月 3 日（月）に受賞作品を発表します。

■「MTV VMAJ 2016 -THE PARTY!!-」のホストには RIP SLYME が決定

10月26日(水)に開催する「MTV VMAJ 2016 -THE PARTY!!-」では、各部門の受賞者の紹介やトロフィーの授与に加え、最も投票数を獲得した「最優秀ビデオ賞」の発表を行います。イベントのホストには、「MTV VMAJ 2002」で「最優秀新人アーティスト賞」「最優秀ヒップホップビデオ賞」を受賞、翌年の「MTV VMAJ 2003」で最多3冠(「最優秀グループビデオ賞」「最優秀ビデオ賞」「最優秀ヒップホップビデオ賞」)を獲得し、以降のノミネーションに欠かせないアーティストとなった RIP SLYME が決定いたしました。これまでに数多くの優れたミュージックビデオを発表し、音楽シーンに新たな風を吹き込んできた RIP SLYME が、グループ初となるイベントのホストに挑みます。イベントの様子は、MTV にて生中継でお送りします。

■「MTV VMAJ 2016」実施概要

- 名 称 : MTV VMAJ 2016
(読み: エムティーヴィー ヴィーエムエージェー トゥーサウザンドシックスティーン)
- 投票期間 : 2016年9月1日(金) 12:00~2016年9月30日(金) 23:59
- 結果発表 : 2016年10月3日(月) 12:00
- 公式サイト : [VMAJ.JP \(http://vmaj.jp\)](http://vmaj.jp)
- 主 催 : バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社
- スペシャル・スポンサー : サムスン電子ジャパン株式会社
- お 問 合 せ : MTV HOTLINE (<http://www.mtvjapan.com/hotline>)

■「MTV VMAJ 2016 -THE PARTY!!-」開催概要

- 日 時 : 2016年10月26日(水) 18:00 開場 / 19:00 スタート(予定)
- ホ ス ト : RIP SLYME
- 出 演 者 : 各部門の受賞者 / ゲスト・セレブリティ (随時発表いたします)
※一部受賞者はスケジュール等の都合で来場しない場合がございます。
- 会 場 : STUDIO COAST

■各部門一覧

- ※ 2015年10月1日~2016年8月31日に国内でリリースされた洋楽・邦楽全楽曲のミュージックビデオを対象に、MTVが選出したものです。
- ※ 各カテゴリー内、アーティスト名ABC順。ビデオ・タイトルのあとの()内はディレクター名。
- ※ 一般の方からの投票により最優秀作品が決定されます。

<u>最優秀洋楽男性アーティストビデオ賞</u> <u>【Best Male Video -International-】</u>	<u>最優秀邦楽男性アーティストビデオ賞</u> <u>【Best Male Video -Japan-】</u>
- DRAKE "Hotline Bling" (Director X) - JAMES BAY "Let It Go" (Sophie Muller) - JUSTIN BIEBER "Sorry" (Parris Goebel) - JUSTIN TIMBERLAKE "Can't Stop the Feeling!" (Mark Romanek) - THE WEEKND "Can't Feel My Face" (Grant Singer)	- AK-69 "Flying B" (Tomoya Egawa) - 秦 基博 "スマレ" (田辺秀伸) - 三浦大知 "Cry & Fight" (塩野大地 / 富田兼次) - レキシ "最後の将軍 feat. 森の石松さん" (北原栄治) - 高橋優 "光の破片" (山口保幸)

<u>最優秀洋楽女性アーティストビデオ賞</u> <u>【Best Female Video -International-】</u> - ADELE “Hello” (Xavier Dolan) - ARIANA GRANDE “Into You”(Hannah Lux Davis) - BEYONCÉ “Formation” (Melina Matsoukas) - RIHANNA “Work feat. DRAKE”(Director X) - SIA “Cheap Thrills (Performance Edit) ” (Sia & Daniel Askill)	<u>最優秀邦楽女性アーティストビデオ賞</u> <u>【Best Female Video -Japan-】</u> - 安室奈美恵 “Mint” (三石直和) - JUJU “What You Want” (鈴木利幸) - きゃりーぱみゅぱみゅ “最&高” (田中秀幸) - 西野カナ “あなたの好きなところ” (土屋隆俊) - 宇多田ヒカル “真夏の通り雨” (柘植泰人)
<u>最優秀洋楽グループビデオ賞</u> <u>【Best Group Video -International-】</u> - COLDPLAY “Up&Up” (Vania Heymann and Gal Muggia) - FIFTH HARMONY “Work from Home feat. TY DOLLA \$IGN” (Director X) - PENTATONIX “Can't Sleep Love” (Alon Isocianu) - THE 1975 “Ugh!” (Adam Powell) - THE VAMPS “Wake Up” (Frank Borin)	<u>最優秀邦楽グループビデオ賞</u> <u>【Best Group Video -Japan-】</u> - BABYMETAL “KARATE” (二宮"NINO"大輔) - EXILE THE SECOND “Shut up!! Shut up!! Shut up!! ” (二宮"NINO"大輔) - Perfume “FLASH” (田中裕介) - VAMPS “INSIDE OF ME feat. Chris Motionless of Motionless In White” (斉藤渉) - THE YELLOW MONKEY “ALRIGHT” (夏目現)
<u>最優秀洋楽新人アーティストビデオ賞</u> <u>【Best New Artist Video -International-】</u> - CHARLIE PUTH “One Call Away” (Mark Staubach) - DNCE “Cake by the Ocean” (Black Coffee / Gigi Hadid) - HALSEY “New Americana” (Jodeb) - JACK GARRATT “Breathe Life” (Andrew Donoho) - LUKAS GRAHAM “7 Years” (Rene Sascha Johannsen)	<u>最優秀邦楽新人アーティストビデオ賞</u> <u>【Best New Artist Video -Japan-】</u> - 雨のパレード “You ” (Mitch Nakano) - ぼくのりりっくのぼうよみ “Newspeak” (ぼくのりりっくのぼうよみ) - FAKY “CANDY ” (Taichi Kimura) - Suchmos “MINT ” (maxilla) - 水曜日のカンパネラ “ツチノコ” (山田智和)
<u>最優秀洋楽アルバム賞</u> <u>【Best Album of the Year -International-】</u> - ADELE 『25』 - BEYONCÉ 『LEMONADE』 - DRAKE 『VIEWS』 - JUSTIN BIEBER 『PURPOSE』 - RIHANNA 『ANTI』	<u>最優秀邦楽アルバム賞</u> <u>【Best Album of the Year -Japan-】</u> - BABYMETAL 『METAL RESISTANCE』 - back number 『シャンデリア』 - BUMP OF CHICKEN 『Butterflies』 - 西野カナ 『Just LOVE』 - Perfume 『COSMIC EXPLORER』
<u>最優秀ロックビデオ賞</u> <u>【Best Rock Video】</u> [Alexandros] “Swan” (五十嵐耕平) - COLDPLAY “Up&Up” (Vania Heymann and Gal Muggia) - RADIOHEAD “Daydreaming” (Paul Thomas Anderson) - RED HOT CHILI PEPPERS “Dark Necessities” (Olivia Wilde) - THE YELLOW MONKEY “ALRIGHT” (夏目現)	<u>最優秀メタルビデオ賞</u> <u>【Best Metal Video】</u> - BABYMETAL “KARATE” (二宮"NINO"大輔) - Crossfaith “Rx Overdrive” (maxilla) - DEFTONES “Prayers / Triangles” (Charles Bergquist) - IRON MAIDEN “Speed of Light” (Llexi Leon) - TRIVIUM “Silence in the Snow” (Jonpaul Douglass)

最優秀ポップビデオ賞 【Best Pop Video】 - ARIANA GRANDE “Into You” (Hannah Lux Davis) - FIFTH HARMONY “Work from Home feat. TY DOLLA \$IGN” (Director X) - JUSTIN BIEBER “What Do You Mean?” (Brad Furman) - 西野カナ “あなたの好きなところ” (土屋隆俊) - Nissy (西島隆弘) “Playing With Fire”(園田俊郎)	最優秀 R&B ビデオ賞 【Best R&B Video】 - ALESSIA CARA “Here” (Aaron A) - BRYSON TILLER “Don’t” (Taj Stansberry) - 三浦大知 “Cry & Fight” (塩野大地 / 富田兼次) - USHER “No Limit feat. YOUNG THUG” (Joseph Toman) - THE WEEKND “Can’t Feel My Face” (Grant Singer)
最優秀ヒップホップビデオ賞 【Best Hip Hop Video】 - AK-69 “Flying B” (Tomoya Egawa) - CHANCE THE RAPPER “Angels feat. SABA” (Austin Vesely) - DRAKE “Hotline Bling” (Director X) - DESIIGNER “Panda” (Paul Geusebroek) - KANYE WEST “Famous”	最優秀ダンスビデオ賞 【Best Dance Video】 - BOOM BOOM SATELLITES “LAY YOUR HANDS ON ME ” (関和亮) - CALVIN HARRIS “This is What You Came for feat. RIHANNA ” (Emil Nava) - DISCLOSURE “Magnets feat. LORDE ” (Ryan Hope) - KYGO “Stay feat. MATY NOYES ” (Jason Beattie) - MIKE POSNER “I Took a Pill in Ibiza (Seeb Remix) ” (Jon Jon Augustavo)
最優秀振付け賞 【Best Choreography】 - Beat Buddy Boi “B-BOI スクランブル” (田村昌大) - FIFTH HARMONY “Work from Home feat. TY DOLLA \$IGN” (Director X) - GENERATIONS from EXILE TRIBE “AGEHA” (Yu-ya HARA) - JUSTIN BIEBER “Sorry” (Parris Goebel) - SIA “Alive” (Sia & Daniel Askill)	最優秀ビデオ賞【Best Video of the Year】 全部門で最も投票を集めたミュージックビデオ

【MTV VMAJ とは】

音楽を“聞くもの”から“見て楽しむもの”へと変えたパイオニア「MTV」を象徴する、伝統ある米国「MTV VIDEO MUSIC AWARDS」の日本版として、MTV JAPAN が 2002 年以来開催している国際規模の音楽アワードが、「MTV VMAJ (VIDEO MUSIC AWARDS JAPAN)」です。年に一度、年間でもっとも優秀なミュージックビデオを決定し表彰する音楽アワードで、多岐の部門にわたるノミネーションは、「映像作品としてのクオリティ、インパクト、斬新さ、楽曲とのマッチング」、「楽曲自体のクオリティ」、「アーティスト自身の魅力／パワー」の 3 点を重視し、アーティスト的な側面だけでなく、テクニカルな観点からなど、さまざまな角度から選考を重ね、決定されます。さらに、ノミネート・ビデオからの受賞作品を決めるのは、視聴者、一般の方から募る投票であり、“ファンが選ぶ音楽賞”として大きな支持をいただいております。

▼報道関係の方からのお問合せ▼

パイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社
 担当：露口 Tel: 03-6870-7693 (直通・平日) E-mail: pr@vimn.com